



GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局
宮崎市橋通東3-1-22
宮崎合同庁舎
TEL 0985(38) 8821
FAX 0985(38) 5028

高校生の就職

宮崎労働局が総合的に支援

応募前ジュニアワークフェア
163社1519人が参加



若者応援宣言



多くの企業が自社の魅力アピール
7月18日(左下7月)
多小日高宮崎地区

宮崎県民の皆様
よろしくお願ひします



吉田研一新局長

現在の労働行政の課題は、非正規雇用労働者の待遇改善、長時間労働の是正等働き方改革の推進、女性・若者・高齢・障害者等の多様な働き手の参画、安全で健康に働くことができる職場づくりなどです。このためには、労働局が総合労働行政機関としての機能を地域の中で発揮していくことが重要と考えています。私は地方局勤務として、富山労働局長の他に、北海道、愛媛を経験しております。地域の実情・ニーズに沿いつつ、宮崎の良さを引き出すべくリーダーシップを発揮できればと思っております。

若者の多くを県外へ供給している状況の宮崎県。新規高等学校卒業者の県内就職率も全国ワーストの状況です。県外企業への就職を希望する理由には、働きがいや、高い賃金、福利厚生面の充実などさまざまですが、県内企業にも販売量や高い技術で誇れる企業が沢山あるにも関わらず、その魅力等

を知ることなく県外企業を応募先としている現状もあるところです。このため夏休み前に、高卒者向け求人を出した企業を集めての企業説明会を「応募前ジュニアワークフェア」として県内4地域(宮崎、延岡、都城、小林)で実施し、応募企業選択肢の拡大を図りました。

講師を派遣して学習会

宮崎労働局と県は7月4日から宮崎県内21の高等学校で、順次高校生を対象とした労働法講習会を開催しています。これは宮崎県教育委員会のキャリア教育推進の一環で、将来働く上で必要となる基礎知識を理解して就業できるように、労働関係法規等について基礎的知識を身につけてもらうことを目的としたものです。3年目に入

る今年度は、3,280名が受講予定です。講師は労働局職員と県教育委員会職員が担当し、動画教材や「まんが知って役立つ労働法」を使って分かりやすく説明しています。

アルバイト経験のある高校生から「労働条件通知書をもらったことがない」などの意見もあり、関心を持って受講してもらいました。

就職前に労働法を学ぶ

プラザ宮崎
マザーズコーナーにぶうさ君



ハローワークプラザ宮崎にマスコットキャラクターが誕生しました。名前は「ぶうさ」(Best Useful Serviceの頭文字)。主に小さなお子さんをお持ちの求職者に対して職業紹介するマザーズコーナーで、役立つサービスを提供するなど活躍しています。

7月24日(土)に開催した労働立上げ推進標準労働法は立山一用庄監督左し高課丸た校長はーで講まの



安全衛生に係る
厚生労働大臣及び
宮崎労働局長表彰

受彰おめでとう
ございます

安全衛生に関する水準が高い皆さん
これからも他の模範となつて下さい



表彰された皆さん

7月3日、宮崎市ひまわり荘において、安全衛生水準が極めて高く、他の模範と認められる優良事業場、長年にわたり安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした6団体、また、4名の功労者に対して、宮崎労働局長から表彰状が授与されました。



厚生労働大臣表彰(功績)を受彰された後藤建一(左)と宮崎労働局長(右)

式に当たって、元木局長は「皆様方には長年にわたり県下の労働安全衛生水準の向上に積極的に取り組んでいただいておりますことに、深く敬意を表しますとともに、今後とも地域、同業種の事業場の模範となつていただき、県内の労働災害防止に御尽力を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶しました。併せて、厚生労働大臣表彰の伝達式も執り行なわれました。



元木賀子前局長
(7月11日付異動)

いつもお力添えにあずかり、ありがとうございました

この度、厚生労働省雇用環境・均等局在宅労働課長に転任する事になりました。宮崎労働局長として1年3か月という短い期間でありましたが、宮崎県の課題に微力ながら力を尽くしました事は、一重に宮崎県民の皆様からのご助言ご指導の賜物にほかなりません。心残りもありますが、プライベートも楽しめました。これからは宮崎での経験を生かし、労働行政の推進に努めて行きたいと考えております。今後も一層、宮崎労働局へのご支援を宜しくお願い致します。

※表彰6団体

- 優良賞 ①旭化成(株)ハイポア工場
- 奨励賞 ②共同紙工(株)本社工場 ③(株)大和合成宮崎 ④(株)大林組東九州道トンネル工事 ⑤五洋建設(株)東九州道トンネル工事 ⑥西松建設(株)・松本建設(株)JV西畑ダム工事

建設工事発注
段階で十分な
安全対策を

7月13日、宮崎労働局は、国の発注機関(国土交通省と農林水産省)、県の発注機関、建設業関係労働災害防止団体に呼びかけ、建設工事関係者連絡会議を開催。岡本労働基準部長が「発注機関と労働基準行政機関が、労働災害防止を進めていく上で十分な連携が図れるよう情報交換や協議を行いたい」と挨拶。意見交換の後、労働災害の発生状況など労働災害撲滅に向けて、一致団結して取り組むことを確認しました。



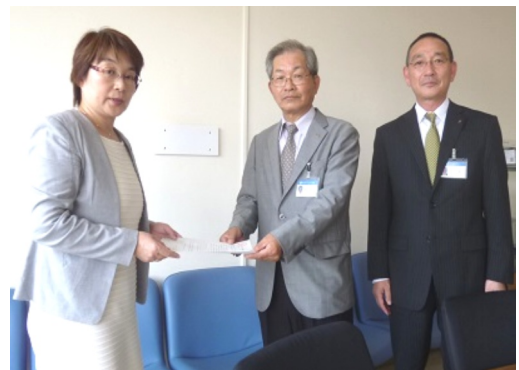
発注機関に協力を呼びかける岡本労働基準部長(中央)

働き方改革~藤元メディカルシステム

企業トップへ働きかけ

6月29日、宮崎労働局は、都城市の藤元メディカルシステム本部を訪問し、同グループの働き方・休み方について宮迫執行役員と中村執行役員にお話を伺いました。

同グループは4週8休制を採用し、月平均の時間外労働は10時間未満。年次有給休暇や育児休業は取得するのが当たり前の雰囲気



要請書を交付する元木局長(左)と藤元メディカルシステム本部の宮迫執行役員(中央)、中村執行役員(右)

あり、働きやすい職場であるとのことでした。また、25年の永続勤務で5日間の特別休暇を取得することができ、毎年20数名が利用しています。元木局長からは、更なる働き方改革に向けた取組をお願いしました。